



安藤桃子さんのイベントに参加された方からの声

言葉の大切さ、自分の持っている感性で表現する方法を学んだ
気がします。自分は持っていない同世代の感性とも触れ合う
ことができてよかったです。

「言葉は無限大」ということを聞いて、もっと日ごろから
言葉と向き合ってみようと思いました。

改めて本が好きになったし、もっともっと読んでみたい。

安藤さんはすごく明るくて、よく笑う方で、楽しんで話を聞くことが
できた。『みんなが共感しないことに興味をもつ』ということが良
い。』というのが心に響いた。



▶若者進路相談会のご案内

時 間：毎月第2土曜日（8月を除く）11：00～17：00

場 所：オーテピア高知図書館3F グループ室5

将来のこと、進路のこと。何かヒントが見つかるかも！

お気軽にお越しください。

オーテピア高知図書館 ティーンズ担当 編集・発行

〒780-0842 高知県高知市追手筋 2-1-1

Tel：088-823-4946（代）

【▼蔵書検索】

<https://opac.library.kochi.jp/winj/opac/top.do>



ティーンズ通信

第10号

2019年5月

オーテピア高知図書館 ティーンズ担当

安藤桃子さんと語ろう！映画と読書の話

5月12日（日）、映画監督の安藤桃子さんをお迎えして、
県内の中高生を対象にイベントを行いました。
約40名の中高生の参加がありました。

映画や本と安藤さんご自身との関わりを交えてお話いただいた
後は、参加者で＜詩をつくる＞ワークショップも行いました。



好きな言葉は？



『知性の限界』高橋 昌一郎
 人にも知性の限界があるんです！
 この本は、言語や予測、思考の限界を
 いろいろな思想をもつ 登壇人物の意見
 を通して考えられます。

『知性の限界』高橋 昌一郎/著 講談社 2010.4



職場体験に来てくれた
 中学生作成のポップです

『MAMA』紅玉 いづき/[著] 電撃文庫 2008.2

MAMA 紅玉 いづき
 落ちこぼれの母と人喰いのお話。
 「ママって何だ?」人喰いは「ママ」を知らない。
 「私がママになってあげる!」落ちこぼれの母は「ママ」となる。
 歪曲しれぬ家族、種族を超えて「赤十字関係」
 救いはありまうか?
 人喰いと落ちこぼれの歪んだ関係が見えぬか!
 思考の運いと感情への戸惑いは何ぞい……。

『Newton - 光速CAR -』
 光速はどれくらいなのかな?
 この本はそんなことを知りたい
 人におすすめです
 「光の速度はかわらないのか?」
 光速と相対性理論の結び
 つきなどを四角つぎで説明して
 くれます。

『光速 c 宇宙の最高速度にして、現代物理学の絶対的基準』
 ニュートンプレス 2012.7

あの日見た花の名前を
 僕達はまた知らない
 岡田 磨里
 夏の糸冬あり、少女は現れた。
 不登校の仁太がゲームを
 しているとあの時の甘っ
 たるい声が聞こえてくる。
 その声の持ち主はあのころか
 ら変わらないう少女だ。

『あの日見た花の名前を僕達はまた知らない。』
 岡田 磨里/[著] KADOKAWA 2016.6

『涼宮ハルヒの憂鬱』 谷川 流/著
 「ただ人間には興味がありません。この中に宇宙人、未来人、異世界人、
 超能力者がいたら、あたしのところに来なさい。以上」
 高校のガールルとした入学式が終わり、クラスで自己紹介をしている時に
 俺の後ろの席の美少女・涼宮ハルヒが言い放った言葉だ。
 俺の超通常の高校生活が超異常な高校生活に変わっていく!?
 非常に異常な学園ストーリーです。

『涼宮ハルヒの憂鬱』谷川 流/[著] 角川書店 2003.6



▶ティーンズコーナー5月6月の展示(本棚2の閲覧席側)
 「ダ・ヴィンチ展～新時代を切り開け～」

レオナルド・ダ・ヴィンチは音楽、建築、数学、解剖学、
 天文学、力学など、様々な分野に業績を残し、時代を切り開
 いていった人物です。

今回は、そのレオナルドに関する小説や、彼の作品がわか
 る本と一緒に、これから新しい時代を創っていくティーンズ
 世代のみなさんに役立つ本を集めました。

「これならわかる 石出法太・石出みどり/著
 オリンピックの歴史」
 もうすぐで東京オリンピック!
 どこでみれば人はオリンピックのあんなことや、こんな
 こと知っていますか?
 古代オリンピックからこれからのオリンピックの
 歴史について Q&Aの形でまとめた本です。

『これならわかるオリンピックの歴史 Q&A』
 石出 法太/著、石出 みどり/著 大月書店 2016.4

学校に行けなかった私が
 「あの花」「ここさけ」を書くまで
 「あの花」「ここさけ」を書いた 岡田 磨
 里さんの本です。
 キャラクターに隠された設定や裏話
 などのっています。
 人生のヒントになります。おすすめです。

『学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで』

岡田 磨里/著 文藝春秋 2017.4

カット・イラスト大募集!!!

作品を投稿するときは、氏名・ペンネーム(本名のみでもOK)・住所・電話番号を書きそえて、
 オーテピアティーンズコーナーの投稿箱、もしくは下記の宛先まで応募してください。

【郵送の場合】オーテピア高知図書館 ティーンズ担当宛

